

資料1

11月2日時点版

大飯地域の緊急時対応 (全体版)

内閣府(原子力防災)

福井エリア地域原子力防災協議会

資料中に記載の内容については今後の精査・調整により変更の可能性あり

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. はじめに | P.2 |
| 2. 大飯地域の概要 | P.3 |
| 3. 緊急事態対応体制 | P.8 |
| 4. PAZ内の施設敷地緊急事態における対応 | P.22 |
| 5. PAZ内の全面緊急事態における対応 | P.34 |
| 6. UPZ内における対応 | P.48 |
| 7. 放射線防護資機材、物資、燃料備蓄・供給体制 | P.92 |
| 8. 緊急時「ニクリグ」の実施体制 | P.104 |
| 9. 原子力災害時の医療の実施体制 | P.115 |
| 10. 国の実動組織の支援体制 | P.128 |

1. はじめに

・この「**大飯地域の**緊急時対応」は、内閣府が設置した福井エリア地域原子力防災協議会において、**関西電力(株)大飯発電所に起因する**原子力災害に関し、**原子力災害対策重点区域**を含む地方自治体の地域防災計画及び国の緊急時における対応をとりまとめたもの。

2. おお い 大飯地域の概要

- 大飯発電所は、福井県大飯郡おおい町おおい ぐん ちょうに設置している原子力発電所である。
- 大飯発電所は、昭和54年3月から1号機による営業運転を開始。同年12月に2号機、平成3年に3号機、平成5年に4号機の運転を開始している。

関西電力(株)大飯発電所について

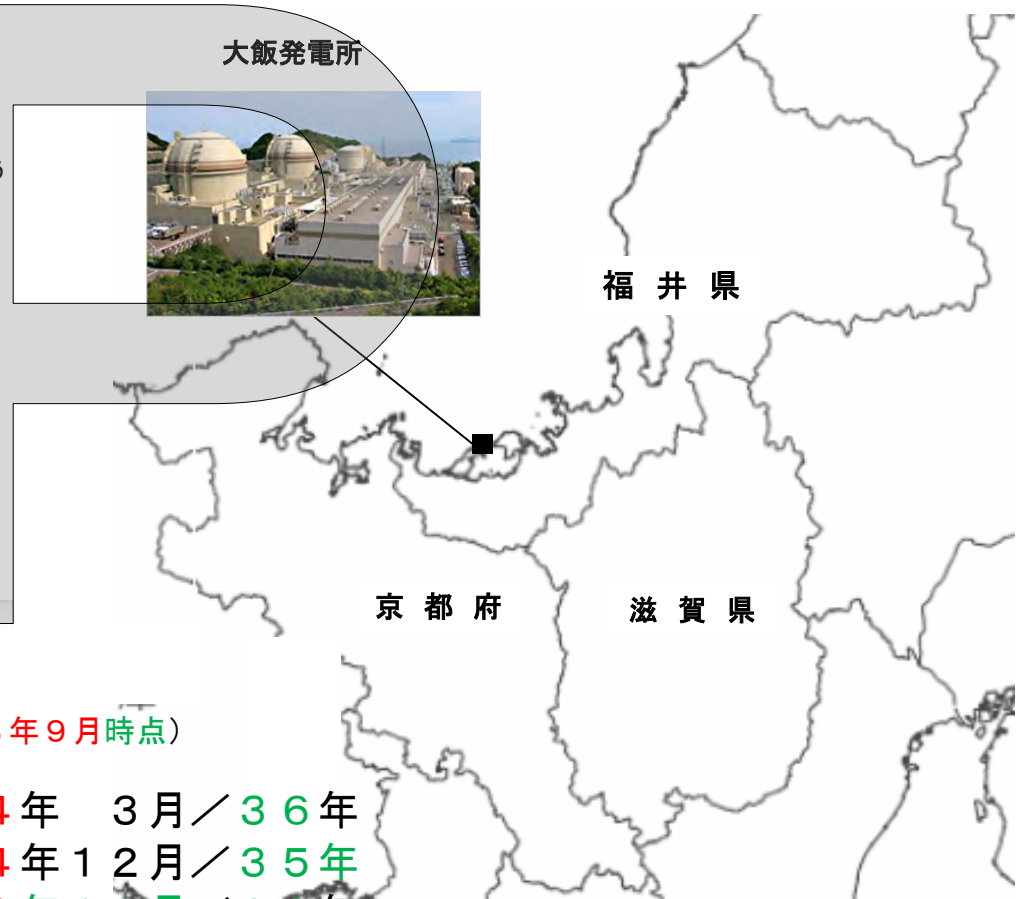
(1) 所在地 おおい ぐん ちょう 福井県大飯郡おおい町

(2) 概要

1号機：117.5万kW・PWR
2号機：117.5万kW・PWR
3号機：118.0万kW・PWR
4号機：118.0万kW・PWR

(3) 着工／運転開始／経過年数 (平成28年9月時点)

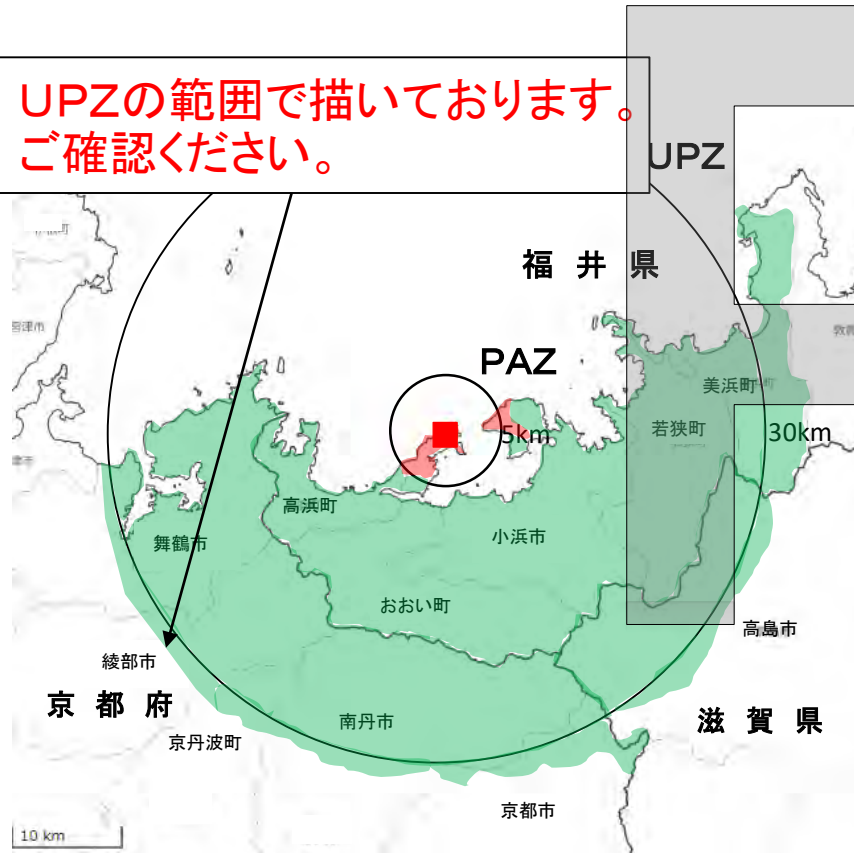
1号機：昭和47年10月／昭和54年3月／36年
2号機：昭和47年11月／昭和54年12月／35年
3号機：昭和62年3月／平成3年12月／23年
4号機：昭和62年3月／平成5年2月／22年



原子力災害対策重点区域の概要

- 福井県地域防災計画、京都府地域防災計画及び滋賀県地域防災計画では、原子力災害対策指針に示されている「原子力災害対策重点区域」として、発電所より概ね5kmを目安とするPAZ内、発電所より概ね5～30kmを目安とするUPZ内の対象地区名を明らかにしている。
- 大飯地域における原子力災害対策重点区域は、PAZ内はおおい町、小浜市(福井県)、UPZ内は6市5町にまたがる。

UPZの範囲で描いております。
ご確認ください。



<概ね5km圏内>

PAZ(予防的防護措置を準備する区域):
Precautionary Action Zone

⇒ 急速に進展する事故を想定し、事故が発生したら直ちに避難等を実施する区域

1市1町(福井県おおい町、小浜市)

住民数:1,017人

<概ね5～30km圏内>

UPZ(緊急時防護措置を準備する区域):
Urgent Protective Action Planning Zone

⇒ 事故が拡大する可能性を踏まえ、避難や屋内退避等を準備する区域

6市5町(福井県おおい町、小浜市、高浜町、若狭町、美浜町)、

(京都府京都市、舞鶴市、綾部市、南丹市、

京丹波町、

(滋賀県高島市)

住民数:161,993人

原子力災害対策重点区域周辺の人口分布（一般住民）

➤ PAZ内人口は1,017人、UPZ内人口は161,993人、原子力災害対策重点区域内の人口は合計で163,010人。

関係市町名		PAZ		UPZ		合計	
		(概ね5km圏内)		(概ね5～30km圏内)			
福井県	おおい町 <small>おおい ちょう</small>	748 人	281 世帯	7,737 人	2,930 世帯	8,485 人	3,211 世帯
	小浜市 <small>おばまし</small>	269 人	85 世帯	30,095 人	11,810 世帯	30,364 人	11,895 世帯
	高浜町 <small>たかはま ちょう</small>			10,731 人	4,201 世帯	10,731 人	4,201 世帯
	若狭町 <small>わかさ ちょう</small>			15,718 人	5,079 世帯	15,718 人	5,079 世帯
	美浜町 <small>みはま ちょう</small>			10,197 人	3,716 世帯	10,197 人	3,716 世帯
小計		1,017 人	366 世帯	74,478 人	27,736 世帯	75,495 人	28,102 世帯
京都府	京都市 <small>きょうとし</small>			298 人	146 世帯	298 人	146 世帯
	舞鶴市 <small>まいづるし</small>			81,177 人	38,480 世帯	81,177 人	38,480 世帯
	綾部市 <small>あやべし</small>			1,684 人	877 世帯	1,684 人	877 世帯
	南丹市 <small>なんたんし</small>			3,499 人	1,540 世帯	3,499 人	1,540 世帯
	京丹波町 <small>きょうたんば ちょう</small>			286 人	122 世帯	286 人	122 世帯
小計				86,944 人	41,165 世帯	86,944 人	41,165 世帯
滋賀県	高島市 <small>たかしまし</small>			571 人	309 世帯	571 人	309 世帯
小計				571 人	309 世帯	571 人	309 世帯
合計		1,017 人	366 世帯	161,993 人	69,210 世帯	163,010 人	69,576 世帯

昼間流入出入口（就労者等）の状況

- 平成22年度国勢調査によれば、ちょう おおい町及びお ばまし 小浜市全体での他市町村からの昼間流入人口は、約6,094名／日。
- また、平成24年度経済センサス調査データによると、関西電力関連企業を中心に111事業所、約1,559人がPAZ内にて就労。
- 就労者の多くは、自家用車又は民間企業が所有するバスを通勤手段としている。
- 昼間、夜間を比較しても人口に大きな差がない。

<昼間流入・流出人口>

	他市町村からの流入人口(人)	他市町村への流出人口(人)	差引増△減(人)
<small>ちょう</small> おおい町	2,129	1,698	431
<small>お ばまし</small> 小浜市	3,965	3,092	873

<PAZ内の就労者数>

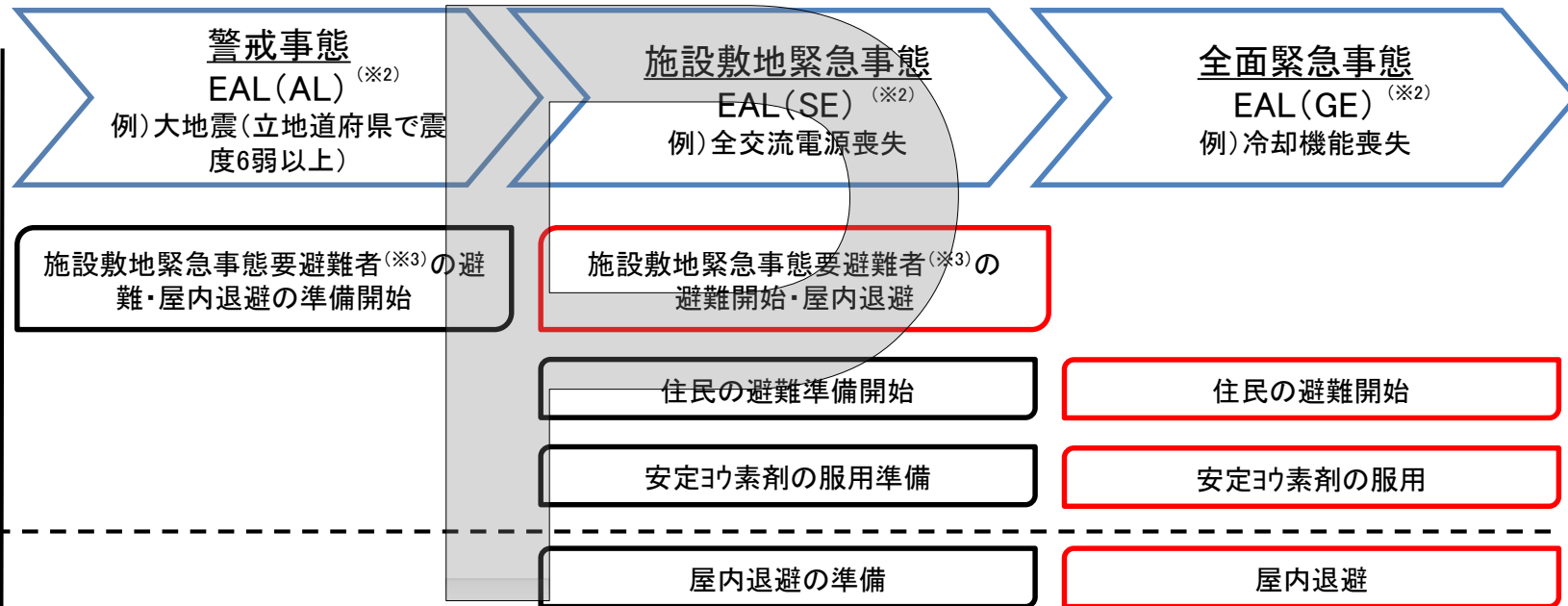
市町名	PAZ内対象地区	事業所数※1	従業員数(人)
<small>ちょう</small> おおい町	<small>おおしま</small> 大島地区	104	1,537
	合 計	104	1,537

市町名	PAZ内対象地区	事業所数※1	従業員数(人)
<small>お ばまし</small> 小浜市	<small>かつみ</small> 堅海区	2	7
	<small>とまり</small> 泊区	5	15
	合 計	7	22

※1 事業所は殆ど、民宿や地元の水産会社のため、従業員は殆ど地元住民

3. 緊急事態対応体制

- 緊急事態の初期対応段階においては、放射性物質の放出前から、必要に応じた防護措置を講じることとしている。
- 具体的には、原子力施設の状況に応じて、緊急事態を3つに区分。



PAZ内
~5km

UPZ内
5km~30km
(※4)

UPZ外
30km~
(※5)

- (※1) EAL(Emergency Action Level): 緊急時活動レベル
避難や屋内退避等の防護措置を実施するために、原子力施設の状況に応じて対策するように、事前に定めた判断基準
- (※2) (AL)=Alert (SE)=Site area Emergency (GE)=General Emergency
- (※3) 避難の実施に通常以上の時間がかかり、かつ、避難の実施により健康リスクが高まらない要配慮者(災害対策基本法第8条第2項第15号に定める要配慮者をいう。)、安定ヨウ素剤を事前配布されていない者及び安定ヨウ素剤の服用が不適切な者のうち、施設敷地緊急事態において早期の避難等の防護措置の実施が必要な者。
- (※4) 事態の規模、時間的な推移に応じてUPZ内においても段階的に予防的防護措置を実施する場合あり。
- (※5) UPZ内と同様に、事態の進展等に応じて屋内退避を行う必要がある。このため、全面緊急事態に至った時点で、必要に応じて住民等に対して屋内退避を実施する可能性がある旨の注意喚起を行わなければならない。